

2019年9月27日  
株式会社日本政策金融公庫**令和元年上半期 農業景況DIは改善するもプラス値転換には至らず  
～ 販売単価DIの低下と生産コストDIの低迷響く～**

&lt;農業景況調査（令和元年7月調査）&gt;

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）農林水産事業は、融資先の担い手農業者を対象に「農業景況調査（令和元年7月調査）」を実施しました。

**<調査結果の概要>**

- 令和元年上半期（1～6月）の農業景況DI<sup>(注)</sup>（▲3.7）は、前回調査（平成30年実績）から7.4ポイント改善したものの、引き続きマイナス値となりました。
- 農業景況DIのマイナス値の継続は、茶や採卵鶏などで販売単価DIのマイナス幅が拡大したことと、生産コストDIで大幅なマイナス水準が続いたことが大きな要因とみられます。業種別の景況DIは、酪農や養豚など、販売価格が堅調な業種は景況DIもプラス値を示しています。
- 令和元年通年の景況DIの見通し（▲4.3）は、上半期実績と横ばいとなる見込みです。
- 雇用状況DI（▲33.8）は、同DIの調査開始以降、全ての業種で大幅なマイナス値が継続しており、依然として深刻な労働力不足の状況にあることを示しています。

注：DI（Diffusion Index＝動向指数）とは、前年と比較して「良くなった」とする回答の割合から、「悪くなった」とする回答の割合を差し引いた値で、上向き、下向きといった方向感を捉える指標。

**<調査結果のポイント>****○ 農業景況DIは上昇もプラス値への転換には至らず。（図1、表1～5）**

令和元年上半期（1～6月）の農業景況DIは▲3.7となり、平成30年の▲11.1から7.4ポイント上昇しました。

販売単価DI（2.1→▲13.3）は、茶や採卵鶏などを中心に相場が大幅に悪化したことでマイナス値に転落しました。また、生産コストDI（▲37.1→▲37.0）は大幅なマイナス値が継続しています。収支DI（▲20.1→▲12.8）、資金繰りDI（▲4.7→▲4.9）も引き続きマイナス値となっており、経営状態を示す各種DIはいずれもマイナス値となりました。

**○ 業種別の景況DI 果樹、畜産（採卵鶏除く）は好調を維持。（図1、表1）**

酪農（北海道/25.0→28.0、都府県/2.5→21.0）は、乳価の改定による乳価上昇を背景にプラス値を維持しています。養豚（▲27.2→6.3）は、昨年の軟調な価格推移から回復基調となったことで、プラス値に転換しました。肉用牛（4.7→8.3）は、平成28年までの顕著な価格上昇から現在の相場は落ち着いた状況にあるものの、景況DIはプラス値を維持しています。稲作（北海道/▲51.8→▲6.8、都府県/▲10.7→▲4.3）については、北海道を中心とする昨年の作況悪化の反動により景況DIが改善しています。

一方で、茶や採卵鶏では景況 DI の悪化が顕著となっています。

茶（▲14.5→▲50.4）は、昨年の価格低下を受けて生産量を減らしたものの、価格の回復にはいたらず、景況 DI は大きく低下しています。

採卵鶏（▲61.2→▲70.8）は、昨年からの価格の低下に歯止めがかからず、景況 DI は引き続き大幅なマイナス値となっています。

## ○ 農業景況 DI の通年見通しは上半期と横ばいで推移。（図 1、表 1）

農業景況 DI の令和元年通年見通しは、上半期実績から横ばいの▲4.3 となっています。

酪農（都府県/21.0→25.4）は堅調な乳価を背景に引き続き高い値を示す見通しです。一方で、平成 30 年から 2 年連続で平均取引価格が過去最低を更新した茶（▲50.4→▲57.8）や、相場の低迷している採卵鶏（▲70.8→▲66.7）では、大幅なマイナス値が続く見込みです。

## ○ 雇用 DI は大幅なマイナス値が継続。深刻な労働力不足の状況が続く。

### （表 6、7、8）

令和元年上半期の雇用状況 DI は▲33.8 となり、前年（▲34.7）からほぼ横ばいで推移しました。同 DI の調査を開始した平成 27 年以降、全業種で大幅なマイナス値が続いており、依然として深刻な労働力不足の状況にあることを示しています。

設備投資の動向は、令和元年 7 月時点で「令和元年に設備投資予定あり」又は「実施済み」と回答した割合が 54.9% となり、平成 31 年 1 月調査（平成 31 年に設備投資予定あり：44.3%）から 10.6 ポイント上昇し、引き続き高い水準となっています。

また、令和元年に設備投資を「実施済み」又は「設備投資予定あり」と回答した者に対して、今年度の設備投資額の増減見通しを聞いたところ、「昨年に比べ増加する（47.5%）」との回答が約半数を占めました。

調査時期 令和元年 7 月

調査方法 往復はがきによる郵送アンケート調査

調査対象 スーパー L 資金又は農業改良資金のご融資先のうち 19, 215 先

有効回答数 5, 378 先（回収率：28.0%）

稲作（北海道）：505、稲作（都府県）：1, 370、畑作：406、露地野菜：482、

施設野菜：430、茶：121、果樹：306、施設花き：153、きのこ：70、

酪農（北海道）：186、酪農（都府県）：224、肉用牛：413、養豚：207、

採卵鶏：130、ブロイラー：73、その他：302

図1 農業景況天気図(平成30年実績、令和元年上半期実績、令和元年通年見通し)

資料

業種	平成30年 実績		令和元年 上半期実績		令和元年 通年見通し
農業全体	 ▲ 11.1	➡	 ▲ 3.7	➡	 ▲ 4.3
稲作(北海道)	 ▲ 51.8	➡	 ▲ 6.8	➡	 ▲ 11.2
稲作(都府県)	 ▲ 10.7	➡	 ▲ 4.3	➡	 ▲ 3.5
畑作	 ▲ 22.7	➡	 ▲ 2.2	➡	 ▲ 3.5
露地野菜	 ▲ 3.4	➡	 ▲ 9.5	➡	 ▲ 7.3
施設野菜	 ▲ 1.4	➡	 ▲ 17.7	➡	 ▲ 7.3
茶	 ▲ 14.5	➡	 ▲ 50.4	➡	 ▲ 57.8
果樹	 20.6	➡	 11.1	➡	 7.5
施設花き	 ▲ 13.7	➡	 ▲ 18.9	➡	 ▲ 12.4
きのこ	 ▲ 21.0	➡	 ▲ 10.0	➡	 ▲ 2.9
酪農(北海道)	 25.0	➡	 28.0	➡	 8.0
酪農(都府県)	 2.5	➡	 21.0	➡	 25.4
肉用牛	 4.7	➡	 8.3	➡	 1.3
養豚	 ▲ 27.2	➡	 6.3	➡	 11.6
採卵鶏	 ▲ 61.2	➡	 ▲ 70.8	➡	 ▲ 66.7
ブロイラー	 15.9	➡	 12.4	➡	 ▲ 5.5

調査様式

農業経営の業況は

1:良くなった 2:変わらない 3:悪くなった

今年(平成31年)の経営見通しは

1:良くなる 2:変わらない 3:悪くなる

(注1) DI(Diffusion Index = 動向指数)について  
DIは、前年と比較して、「良くなった」の  
構成比から「悪くなった」の構成比を  
差し引いたもの。

(注2) DI値に2.5以上の差異がある場合は  
上向き又は下向き矢印。2.4以内の場合は  
平行矢印。

(凡例)

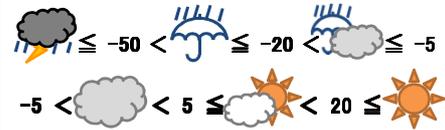


表 各種DI値時系

1. 景況DI

	平成22年 実績	23年 実績	24年 実績	25年 実績	26年 実績	27年 実績	28年 実績	29年 実績	30年 実績	令和元年 上半期実績	令和元年 通年見通し
農業全体	▲25.2	▲7.9	13.2	▲1.4	▲33.7	16.8	20.0	21.2	▲11.1	▲3.7	▲4.3
稲作(北海道)	▲36.9	43.5	43.9	▲4.2	▲67.2	20.1	▲4.9	39.7	▲51.8	▲6.8	▲11.2
稲作(都府県)	▲55.5	13.1	36.2	▲10.2	▲71.0	▲3.8	23.6	10.3	▲10.7	▲4.3	▲3.5
畑作	▲32.2	▲19.1	1.6	▲27.6	▲5.3	35.2	▲17.6	34.8	▲22.7	▲2.2	▲3.5
露地野菜	▲2.0	▲14.0	6.7	15.1	▲15.7	14.3	14.7	7.5	▲3.4	▲9.5	▲7.3
施設野菜	▲6.9	▲15.7	19.9	15.6	▲8.4	20.3	26.3	15.0	▲1.4	▲17.7	▲7.3
茶	▲32.1	▲47.3	▲12.8	▲44.8	▲55.0	▲53.1	11.1	26.5	▲14.5	▲50.4	▲57.8
果樹	▲0.9	▲11.7	16.0	6.3	▲12.7	11.5	25.6	21.8	20.6	11.1	7.5
施設花き	▲20.5	▲38.8	▲8.0	▲2.8	▲34.4	▲5.9	11.8	▲10.6	▲13.7	▲18.9	▲12.4
きのこ	▲51.8	▲47.1	▲19.6	4.7	▲20.7	15.2	1.1	▲2.5	▲21.0	▲10.0	▲2.9
酪農(北海道)	▲37.8	▲26.9	▲2.2	▲9.4	▲4.1	55.9	57.6	44.8	25.0	28.0	8.0
酪農(都府県)	0.0	▲24.2	0.0	▲23.8	▲30.9	29.3	52.2	12.6	2.5	21.0	25.4
肉用牛	▲7.4	▲47.4	8.3	20.5	▲1.2	48.5	50.3	17.5	4.7	8.3	1.3
養豚	15.5	▲6.2	▲38.1	43.6	67.5	48.8	26.2	59.4	▲27.2	6.3	11.6
採卵鶏	14.1	8.4	▲40.6	43.9	28.6	71.0	40.8	32.7	▲61.2	▲70.8	▲66.7
ブロイラー	▲20.0	▲6.3	▲1.3	▲22.4	10.4	51.9	27.4	55.3	15.9	12.4	▲5.5

2. 収支DI

	平成22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年 上半期
農業全体	▲26.3	▲7.2	12.5	▲7.0	▲39.7	14.2	16.7	14.7	▲20.1	▲12.8
稲作(北海道)	▲40.8	54.7	44.7	▲14.4	▲72.4	21.3	▲13.7	43.0	▲63.3	▲21.5
稲作(都府県)	▲61.1	14.0	37.8	▲22.0	▲76.7	▲6.5	23.8	2.2	▲18.8	▲10.7
畑作	▲32.3	▲21.4	▲1.4	▲35.8	▲13.8	33.9	▲24.7	28.1	▲27.5	▲19.0
露地野菜	0.5	▲18.1	0.7	8.9	▲23.6	5.7	13.1	▲0.9	▲14.8	▲23.5
施設野菜	▲9.5	▲18.2	16.7	9.3	▲19.5	15.3	20.3	5.6	▲11.8	▲26.1
茶	▲26.3	▲44.9	▲11.9	▲43.8	▲59.0	▲52.4	8.1	25.8	▲16.1	▲60.0
果樹	1.4	▲12.2	14.2	0.9	▲20.3	6.3	19.3	12.0	7.4	3.5
施設花き	▲20.2	▲38.8	▲9.7	▲8.5	▲39.2	▲8.1	9.1	▲24.6	▲22.0	▲19.7
きのこ	▲50.0	▲46.5	▲13.7	7.0	▲17.1	11.4	▲1.0	▲3.8	▲24.7	▲13.8
酪農(北海道)	▲44.0	▲25.9	▲3.4	▲10.5	▲12.6	55.5	57.0	36.8	7.4	20.8
酪農(都府県)	▲0.8	▲27.7	▲2.6	▲25.4	▲34.3	25.4	48.4	1.7	▲3.3	12.5
肉用牛	▲5.7	▲49.9	9.9	20.2	▲7.6	50.8	48.6	7.0	▲4.1	▲2.0
養豚	21.3	▲4.2	▲38.1	44.9	69.9	50.2	19.1	57.9	▲34.9	▲5.8
採卵鶏	29.5	14.3	▲45.6	56.7	31.3	63.0	44.8	31.9	▲62.8	▲59.9
ブロイラー	▲5.5	▲10.9	1.3	▲22.4	6.0	42.3	29.1	55.3	4.3	▲3.2

3. 資金繰りDI

	平成22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年 上半期
農業全体	▲14.7	▲3.8	9.8	▲0.9	▲29.2	7.6	15.5	15.5	▲4.7	▲4.9
稲作(北海道)	▲18.2	34.5	31.8	▲0.7	▲52.4	8.2	▲2.5	23.8	▲30.4	▲7.7
稲作(都府県)	▲38.1	10.0	29.2	▲6.7	▲59.2	▲10.7	13.5	7.3	▲5.9	▲8.5
畑作	▲12.0	▲9.7	2.4	▲17.0	▲10.4	19.9	▲3.3	23.3	▲5.3	▲3.2
露地野菜	2.0	▲13.2	2.7	7.2	▲14.2	2.3	14.2	2.7	▲6.4	▲8.5
施設野菜	▲4.2	▲6.3	12.7	8.1	▲10.6	16.0	19.8	11.5	0.8	▲17.7
茶	▲28.9	▲33.0	▲16.4	▲32.5	▲43.7	▲41.3	4.3	20.2	▲8.0	▲51.2
果樹	▲6.6	▲8.7	7.2	1.4	▲14.8	1.4	14.7	8.6	8.9	7.8
施設花き	▲19.2	▲27.4	▲14.7	▲9.8	▲34.4	▲6.8	7.3	▲5.9	▲6.9	▲20.2
きのこ	▲37.3	▲39.6	▲23.5	0.0	▲29.3	10.1	1.0	7.5	▲24.7	▲12.9
酪農(北海道)	▲18.9	▲15.1	▲3.1	▲5.0	▲6.3	39.2	45.7	36.3	21.1	25.8
酪農(都府県)	3.5	▲17.8	1.8	▲14.4	▲26.2	26.5	42.1	16.4	5.4	17.0
肉用牛	▲2.8	▲26.7	8.1	9.7	▲6.1	27.8	34.6	16.9	8.7	8.3
養豚	16.7	▲4.2	▲26.8	37.1	59.3	45.0	32.4	55.6	▲7.1	5.4
採卵鶏	18.1	15.6	▲24.4	39.0	26.8	56.0	44.8	31.1	▲30.2	▲44.6
ブロイラー	3.6	▲4.7	18.4	▲16.4	3.0	38.5	29.1	50.0	27.6	15.1

4. 販売単価DI

	平成22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年 上半期
農業全体	▲41.3	▲12.7	4.5	▲11.1	▲40.0	13.1	26.1	24.3	2.1	▲13.3
稲作(北海道)	▲84.0	32.9	40.4	▲51.9	▲88.6	10.1	19.9	54.4	▲5.9	▲7.8
稲作(都府県)	▲85.8	25.2	43.3	▲58.7	▲88.2	7.0	33.4	36.0	16.9	▲6.5
畑作	▲40.4	▲34.4	▲29.7	▲36.2	▲30.5	▲15.4	▲3.5	▲2.1	▲1.9	▲12.2
露地野菜	9.8	▲32.6	▲19.6	17.0	▲33.5	▲10.0	16.5	▲7.8	0.8	▲37.2
施設野菜	▲14.3	▲27.3	0.9	▲0.4	▲32.8	▲0.6	26.0	8.7	▲11.6	▲38.5
茶	▲36.6	▲43.0	▲27.9	▲62.1	▲64.0	▲59.4	▲1.3	18.1	▲41.1	▲65.8
果樹	20.1	▲15.1	1.9	▲1.4	▲25.4	10.9	34.9	28.0	15.0	25.5
施設花き	▲37.3	▲52.0	▲27.0	▲21.1	▲47.0	▲15.4	7.3	▲28.6	▲23.3	▲36.6
きのこ	▲69.9	▲53.9	▲42.2	1.2	▲22.0	▲6.4	▲18.2	▲11.3	▲39.6	▲41.4
酪農(北海道)	▲66.7	▲22.0	37.4	36.0	59.3	85.9	79.3	67.8	47.6	35.8
酪農(都府県)	▲5.9	▲24.0	▲2.1	51.7	23.0	61.7	50.7	14.4	17.6	65.8
肉用牛	▲33.6	▲65.4	▲4.9	59.0	46.4	85.8	76.4	17.1	20.4	▲14.5
養豚	11.2	▲22.9	▲71.5	70.1	84.1	26.9	▲15.1	63.6	▲55.0	7.2
採卵鶏	38.9	▲11.7	▲48.8	82.3	53.6	74.0	▲12.0	1.7	▲66.7	▲81.9
ブロイラー	▲12.7	3.1	▲47.4	▲22.4	10.4	28.8	▲9.7	37.5	▲11.6	▲24.2

5. 生産コストD1

	平成22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年 上半期
農業全体	▲43.6	▲48.6	▲50.7	▲62.9	▲66.3	▲44.7	▲19.1	▲25.2	▲37.1	▲37.0
稲作(北海道)	▲47.8	▲53.5	▲49.7	▲63.0	▲69.0	▲44.1	▲24.2	▲18.8	▲36.9	▲46.4
稲作(都府県)	▲38.6	▲40.7	▲38.3	▲43.6	▲53.2	▲36.5	▲11.5	▲11.2	▲18.2	▲25.4
畑作	▲55.2	▲62.3	▲55.8	▲70.4	▲78.2	▲63.7	▲32.6	▲28.4	▲38.5	▲42.5
露地野菜	▲54.4	▲55.3	▲46.9	▲65.1	▲67.5	▲56.8	▲28.9	▲40.0	▲46.3	▲43.8
施設野菜	▲55.9	▲52.4	▲52.4	▲64.5	▲63.4	▲41.0	▲26.5	▲39.9	▲49.0	▲51.5
茶	▲38.1	▲53.1	▲48.4	▲68.5	▲72.5	▲30.1	▲11.1	▲32.2	▲46.7	▲46.2
果樹	▲46.0	▲38.1	▲44.8	▲55.8	▲67.0	▲48.4	▲31.3	▲37.3	▲39.0	▲42.0
施設花き	▲34.9	▲48.9	▲53.3	▲70.7	▲72.8	▲33.5	▲21.9	▲48.6	▲53.5	▲60.8
きのこ	▲38.6	▲43.1	▲40.6	▲64.0	▲74.4	▲43.0	▲22.4	▲28.8	▲59.2	▲48.5
酪農(北海道)	▲51.1	▲59.0	▲68.8	▲81.9	▲80.4	▲46.4	▲4.9	▲35.2	▲48.2	▲33.3
酪農(都府県)	▲34.0	▲53.9	▲67.5	▲83.5	▲83.6	▲46.6	▲0.7	▲32.9	▲40.4	▲31.5
肉用牛	▲42.3	▲38.0	▲65.7	▲83.1	▲81.9	▲63.1	▲37.3	▲41.3	▲46.7	▲26.9
養豚	▲21.0	▲48.7	▲65.9	▲69.6	▲59.8	▲17.7	16.9	12.1	▲37.0	▲25.3
採卵鶏	▲23.5	▲31.2	▲61.9	▲79.9	▲78.6	▲32.0	11.2	▲12.0	▲49.6	▲43.0
ブロイラー	▲54.5	▲42.2	▲42.1	▲76.1	▲59.7	▲44.2	▲4.8	▲16.1	▲23.2	▲16.4

6. 設備投資予定ありの比率

	平成23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年	令和元年 半年経過時点
農業全体	33.1	37.3	42.0	39.5	34.5	43.6	51.8	46.6	44.3	54.9
稲作(北海道)	33.5	45.3	48.8	39.7	26.1	44.1	48.6	45.2	41.0	56.3
稲作(都府県)	35.0	45.7	50.9	46.1	32.5	45.1	53.5	49.8	47.0	59.7
畑作	38.6	40.3	46.6	37.6	37.2	50.1	54.1	53.2	49.7	60.4
露地野菜	35.2	36.8	41.3	41.1	34.8	41.9	50.8	44.6	43.8	50.7
施設野菜	32.7	34.9	36.8	35.8	34.6	38.6	46.3	40.2	38.0	44.9
茶	30.7	31.1	35.9	32.2	30.3	28.2	45.7	40.5	40.7	35.5
果樹	29.7	30.3	39.9	33.6	31.7	38.2	45.5	33.5	35.2	46.6
施設花き	21.2	29.9	29.4	27.7	26.3	28.1	41.1	30.8	28.8	38.2
きのこ	27.7	25.5	28.7	43.0	36.6	44.9	47.3	43.2	51.9	52.9
酪農(北海道)	23.9	24.7	32.0	27.8	36.4	42.0	53.7	46.1	44.3	57.0
酪農(都府県)	36.2	34.0	34.3	35.9	42.8	38.3	58.0	49.4	48.4	63.5
肉用牛	28.4	30.8	37.8	36.5	41.1	49.9	56.8	46.2	45.1	55.6
養豚	36.4	38.4	36.2	49.3	55.9	54.4	62.1	58.0	45.5	58.5
採卵鶏	40.0	38.3	27.8	39.8	46.5	54.0	61.3	61.2	44.2	48.1
ブロイラー	45.5	39.1	43.4	38.8	47.8	55.8	59.7	51.8	55.1	57.5

※上半期(半年経過時点)の設備投資予定ありの比率は、「実施済み」「予定している」の合計。

7. 雇用状況D1

	平成22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年 上半期
農業全体	-	-	-	-	-	▲26.3	▲33.6	▲36.8	▲34.7	▲33.8
稲作(北海道)	-	-	-	-	-	▲26.7	▲35.6	▲39.0	▲41.2	▲37.2
稲作(都府県)	-	-	-	-	-	▲18.8	▲27.3	▲27.8	▲27.6	▲31.5
畑作	-	-	-	-	-	▲33.6	▲40.8	▲45.0	▲40.9	▲43.1
露地野菜	-	-	-	-	-	▲34.9	▲41.5	▲43.4	▲36.7	▲29.7
施設野菜	-	-	-	-	-	▲24.1	▲30.8	▲33.0	▲30.9	▲26.9
茶	-	-	-	-	-	▲26.6	▲30.8	▲37.7	▲40.7	▲35.3
果樹	-	-	-	-	-	▲25.6	▲32.0	▲36.8	▲36.9	▲41.0
施設花き	-	-	-	-	-	▲26.8	▲31.6	▲34.4	▲31.8	▲32.4
きのこ	-	-	-	-	-	▲26.6	▲37.6	▲41.2	▲42.0	▲47.0
酪農(北海道)	-	-	-	-	-	▲40.4	▲45.0	▲52.5	▲44.1	▲45.5
酪農(都府県)	-	-	-	-	-	▲25.8	▲28.0	▲27.6	▲26.3	▲28.3
肉用牛	-	-	-	-	-	▲24.7	▲28.7	▲34.3	▲32.4	▲29.3
養豚	-	-	-	-	-	▲35.6	▲44.5	▲44.3	▲32.7	▲26.2
採卵鶏	-	-	-	-	-	▲31.0	▲43.2	▲47.4	▲41.1	▲41.5
ブロイラー	-	-	-	-	-	▲15.4	▲21.4	▲36.4	▲25.0	▲36.1

8. 今年の設備投資額は昨年に比べ

